

# 学校図書館支援センター通信 NO.30 3月号

平成21(2009)年度 市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター)

## 事業委員会・協力校合同会議開催!

～文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」～



2月23日(火)、文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」の第2回事業委員会・協力校合同会議が開催されました。事務局からの事業経過報告の後、各協力校(中山小・宮田小・鶴指小・大洲小、



各協力校からの研究報告

塩焼小、第七中)の研究主任、司書教諭より、今年度の研究の実践内容や成果と課題について報告がありました。どの学校においても、研究授業(自主公開)や日常の学習において、学校図書館の活用方策について、学習のねらいと子どもの実態に応じた特色ある実践的な研究が進められていました。また、「児童生徒の学校図書館活用についての意識調査(6月と2月に実施)」の結果(※)からも、研究の成果が子どもの学びの姿として少しずつ表れてきているのを感じました。

報告後は、事業委員会委員長:大熊徹先生(東京学芸大学教授)、同委員:川口課長(教育委員会指導課)より、「学校教育目標や研究テーマを具現化した授業の日常化を図る。」「社会科や理科などで言語活動の充実を図る。」「『市川市教育振興基本計画』にあるとおり、各学校で学校図書館機能の充実を推進する。」など、今後の研究の方向性についても、ご指導をいただきました。

来年度、引き続き協力校を中心に研究を深め、各協力校の研究成果を市内全体で共有し広めていきたいと考えています。

※『学校図書館活用意識調査』(対象:協力校6校:小学3年生以上の児童・生徒)

設問3「調べ学習をするときは、調べる資料について学校図書館の先生に相談している。」

回答	6月	2月
そう思う	9. 6	12. 7
まあそう思う	25. 3	28. 8

(数字は、%)

設問3については、左表の通り、「そう思う」「まあそう思う」を合わせて6. 6Pの増加が見られました。



授業研究会(塩焼小学校)

### <学校図書館の応援団! ~学校図書館支援スタッフがお手伝いをしました~>

学校図書館支援スタッフが教育センター(学校図書館支援センター)に配置されてから2年半、今年度からは市で予算化していただいたこともあり、さらに、各学校図書館のニーズに応じた充実した支援を行うことができました。訪問した学校数も、延べ63校!(コンピュータの保守対応を除く。)に上りました。来年度も学校図書館の応援団としてご期待ください!

今年度も、新任学校図書館員さんの学校図書館を中心に、お手伝いをさせていただきました。学校図書館の仕事は、専門職であり一人仕事ですが、一人ではできないことばかりですね。学校の中では、校長先生のご指導のもと、司書教諭の先生を始め、全ての教職員の皆さんと情報を共有し手を携えていくことが必要です。また、学校間でも学校司書・学校図書館員同士の連携・ネットワークが仕事を進める上で、『心の支え』になりますね。これからも、『人と人との絆』を大切にしながら、みんなで、本が大好きな子どもを育てていきたいですね。学校図書館に伺わせていただき、一緒に悩み考えているばかりの私ですが、いつも勉強させていただいています。今年度もありがとうございました。

(学校図書館支援スタッフ 酒井セイ)



### 『学校図書館活用授業実践事例集・2』ができました!

「学校図書館の活性化推進総合事業」の一環として「学校図書館を活用した授業」の事例集を作成しました。昨年度に引き続き2冊目の刊行となります。教育委員会指導課と教育センターの指導主事が推薦した12編(小学校11編、中学校1編)の授業実践を紹介しています。とりわけ、今回は、国語科の授業において学校図書館を効果的に活用した学習活動を取り上げています。是非、ご参照いただき、日々の授業づくりにご活用ください。(※ 来年度4月に各学校に配付いたします。)

「…(略)21世紀は、『知識基盤社会』と言われています。(略)そこでの子どもたちの『学び』は自らの興味・関心に基づき、各種の情報源に能動的に働きかけて学ぶことであり、学校図書館はその『学び』を育てる重要な任務を担っています。2008年3月に告示された学習指導要領においても、子どもたちの主体的な学習活動を支える学校図書館機能の充実が盛り込まれ、各教科等における学校図書館の積極的な活用が喫緊の課題になっています。…(略)本書を参考に、子どもたちの『学び』に灯をともし授業づくりにチャレンジしてもらいたいものです。」  
【本書「はじめに」(学校図書館の活性化推進総合事業 事業委員会委員長 東京学芸大学教授 大熊 徹)より抜粋】

#### <掲載実践例一覧>

※ 所属学校は、授業実践当時の学校です

no	学年	単 元 名	指導者、学校司書・学校図書館員 (所属学校名)
1	小1	ぼく・わたしのとおきの本をしょうかいします!	島野 由香、細矢 初江 (富貴島小学校)
2	小2	鳥はかせになって、鳥のちえをしょうかいしよう	根岸 茂美、小泉美江子、三好 京子 (真間小学校)
3	小2	すごいぞ!生きもの図かんを作ろう	上野 彩、細矢 初江 (富貴島小学校)
4	小3	お気に入りのシリーズを見つけて、友達に紹介しよう	吉岡 洋子、中澤 公子 (鬼高小学校)
5	小3	願いを受け止めて読もう	新井 仁恵、細矢 初江 (富貴島小学校)
6	小5	ようこそ 宮沢賢治の世界へ	鐵本 初江、石原 朝子、島津 直美 (中国分小学校)
7	小5	本の世界を深めよう	田岡 美賀、川崎 秀明、半田 薫 (妙典小学校)
8	小6	生き方を考えながら読もう	望月加奈子、三好 京子 (真間小学校)
9	小6	その時、心が動いた!	高橋 薫、吉田 寛子 (国府台小学校)
10	小6	読書座談会をしよう	川添 陽子、細矢 初江 (富貴島小学校)
11	小6	本の世界を深めよう	神尾真佐子、中田 桂子 (大和田小学校)
12	中1	13歳の座右の銘	伊東 真里、北井 恵子 (東国分中学校)

(ご多用の中、ご執筆いただきました先生方に感謝申し上げます。)

#### 路子の部屋



三学期は、宮田小学校、中山小学校、鶴指小学校、塩焼小学校、第八中学校で、先生方にお話をさせていただく機会を得ました。どの学校でも若い先生方が増えて活気に満ちていると同時に、授業に学校図書館をどう活かしていくかについて悩むことも多いので、できるだけ具体的に研修したいという要望がありました。

学校図書館を活用した授業を拝見した学校もありました。私が強調したことは、学校図書館活用は「目的」ではなく「手段・手法」であるということです。特に、教科の授業では、その教科のねらいや単元のねらいに即して、図書や情報を扱うことが必要です。また、子どもたちが言語力や情報活用能力を身に付けるには、個人で調べたうえで小グループで交流し話し合うことが有効です。学校図書館の時間は区切り、ダラダラ調べさせないのもコツ。

もちろん、学校図書館活用でしか得られない学力もあります。豊富な図書を使って読み広げる読書活動や、複数資料で情報を比較し検討する活動は学校図書館活用の醍醐味です。学校図書館は、授業を豊かにする有効なツールなのです。

#### ざっくばらん

「今朝は一面真っ白な雪に覆われ、子どものようにわくわくしながら出勤いたしました。学校の農園では、子どもたちが雪球を作り、楽しそうに遊んでいました。今日の図書の日、予定を変更して、雪にまつわるお話を紹介しようと思います。」(学校図書館員 1・Y)

…瞳を輝かせながらお話を聞いている子どもたちの笑顔が、目に浮かぶようですね。

今年度もお世話になりありがとうございました。来年度もどうぞ、よろしく願います。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター内)  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

